

国際観光都市としての機能整備の方向性、 導入すべき機能のイメージについて (議論のための検討素材)

- 1 MICEを核とした国際観光都市を目指す目的 ……1ページ
- 2 中部国際空港エリアの位置付け ……2ページ
- 3 機能整備の方向性(案) ……3ページ
- 4 導入すべき機能のイメージ ……4ページ
- 5 機能整備の手法の検討 ……8ページ



平成29年9月14日

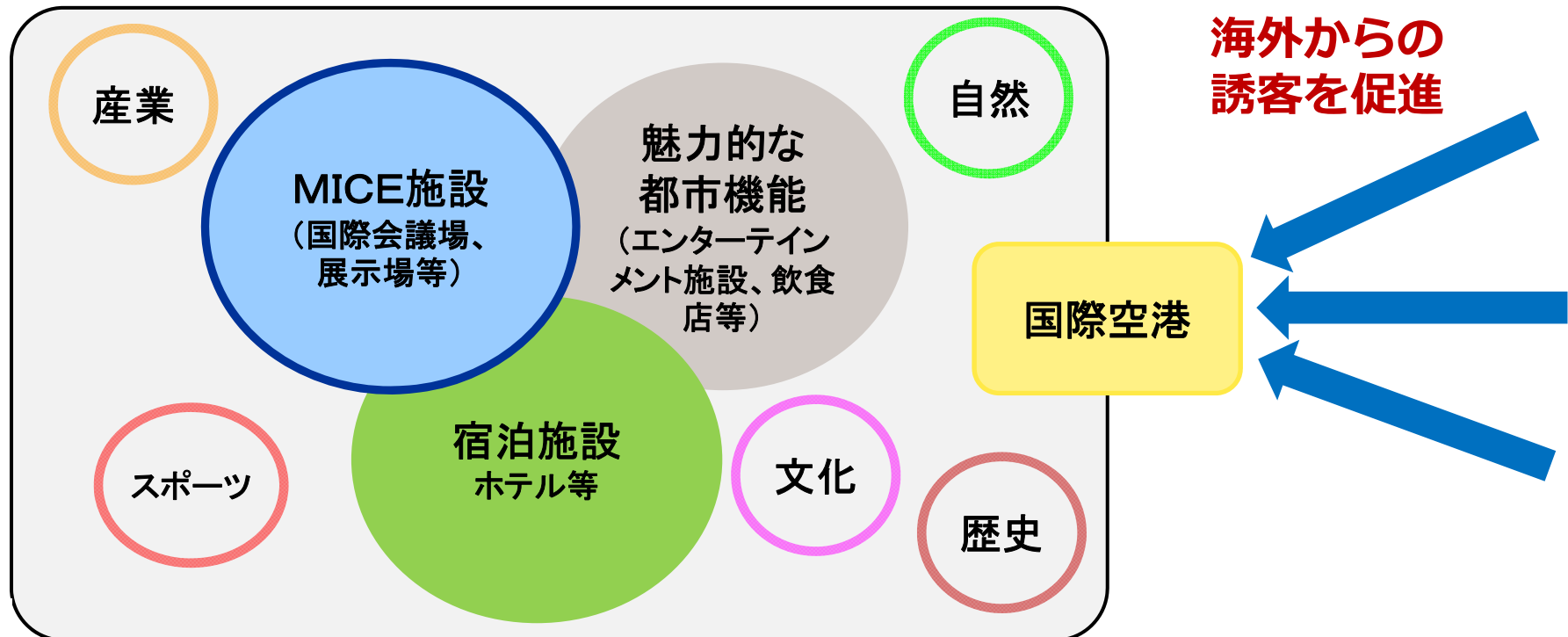


1 MICEを核とした国際観光都市を目指す目的

目的(県の考え方)

- ・ 日本一の産業県であり、優れた交通基盤をもつ愛知のポテンシャルを活かし、世界、国内の動向・潮流を踏まえ、これまで以上に魅力的なMICEを核とした国際観光都市を目指す必要がある。(第1回研究会資料を元に作成)
- ・ 国際会議、展示会を誘致してビジネスマッチングを起こして、さらにイノベーションを作りだし、地域の国際競争力を高めていく。(8/1知事臨時記者会見発言)

<MICEを核とした国際観光都市のイメージ>



2 中部国際空港エリアの位置付け

中部国際空港エリアの現況

- ・ 中部国際空港エリアでは、国際展示場をはじめ、複合商業施設や新たな宿泊施設などの整備が着々と進められており、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光ゾーンを実現できる可能性が高い。(第1回研究会資料抜粋)

第1回研究会でのご意見

- ・ 地域の魅力、都市の魅力の向上に力を入れ、腰を据えて国際観光を進めていくという戦略を明確に打ち出していく必要がある。
- ・ 国際観光の推進には、MICEの視点が大きい。
- ・ 国際展示場と会議場は、地理的に近いところで考える必要がある。
- ・ 中部地域は、アフターコンベンション機能が弱い。
- ・ ハード施設と同時に、受入態勢やプロモーション、都市の魅力向上等が必要。
- ・ MICEを起爆剤に、知多半島の豊富な観光資源や、名古屋、その先の昇龍道までの観光を含め、訪日外国人の誘致すべき。

など

中部国際空港エリアは国際観光都市の拠点として、MICE施設及び魅力的な都市機能、宿泊施設等の充実を図るとともに、周辺地域と連携した地域の魅力向上づくりが必要ではないか。



3 機能整備の方向性(案)

◆国際展示場との相乗効果を発揮したMICE誘致

- ・自動車、航空宇宙、ロボット産業をはじめとするモノづくり産業の集積を背景に、現在整備中の国際展示場を核にさらなるMICE施設の充実を図り、国内外からより多くのMICEを呼び込む。
- ・アフターコンベンション施設等の整備を図り、MICE開催都市としての魅力を向上する。

◆中部国際空港直結の地の利を活かした展開

- ・世界各地と結ばれた定期航空路線や、ビジネスジェットによる24時間ダイレクトアクセスが可能な地の利を活かし、高級宿泊施設や世界最高峰のエンターテインメントを提供し、海外からの一般客はもとより富裕者層を取り込む。
- ・ゲートウェイ機能を強化し、周辺地域と一体となって地域の魅力を発信することで、周遊観光拠点としての機能性の向上を図り、国内外から人を呼び込む。

◆最先端技術を活用したモデル未来都市の創造

- ・日本一の産業県・愛知の世界屈指の技術力を活用し、ロボット等の最先端技術を体験できる施設整備を図ることにより、中部国際空港エリアにおいてモデル未来都市を実現する。

4 導入すべき機能のイメージ①

MICE施設の整備

- ・国際会議、学会、インセンティブツアーなど、様々なMICEニーズに幅広く対応するため、2019年9月開業予定の国際展示場以外のMICE施設の整備が必要ではないか。
- ・その場合、国際展示場との相乗効果を生み出す施設とするため、場所は国際展示場の近隣で、展示場と同時利用も想定されるような施設が望ましいと考えるが、どうか。

(MICE施設の例)

- ☞ 国際会議対応設備を備えた会議施設、大型会議・企業研修等が可能な大ホール
- ☞ 劇場、シアター等としても活用できるマルチ機能を備えた施設
- ☞ ビジネス支援をするためのハイレベルなビジネスセンター、ビジネスコンシェルジュ



大ホールのイメージ
出典：ウインク愛知HP



国際会議室のイメージ
出典：名古屋国際会議場HP

多様なニーズに対応する幅広い宿泊施設の整備

- ・長期滞在型のビジネス客や海外富裕層など、MICE来訪者を中心に多様なニーズに対応する宿泊施設の整備が必要ではないか。
- ・宿泊施設には、コンシェルジュ機能や観光案内機能を備える必要があるのではないか。

(宿泊施設の例)

- ☞ ラグジュアリーホテル、高級コンドミニアム

4 導入すべき機能のイメージ②

アフターコンベンションの魅力強化

- ・MICE誘致を促進するアフターコンベンションの充実には、同伴家族や一般観光客をも惹きつける魅力あるエンターテインメント施設、飲食店、商業施設等が必要ではないか。

(施設の例)

- ☞ 劇場、美術館、産業をテーマにした博物館
- ☞ 地域の食文化を提供するレストラン、スポーツ観戦施設



劇場のイメージ

出典：愛知県芸術文化センターHP



産業をテーマにした博物館のイメージ

出典：あいち航空ミュージアムHP



レストランのイメージ

各施設間を結びつける移動の円滑化

- ・施設間の回遊性を高め、相互利用を促進する仕掛けが必要ではないか。
- ・施設間の移動時間の削減、ストレスフリーを図る必要があるのではないか。

(導入例)

- ☞ 空中回廊、スカイプロムナード
- ☞ 動く歩道、無人タクシー

4 導入すべき機能のイメージ③

モデル未来都市となる最先端技術

- ・最先端の次世代技術を駆使したアトラクションや実証実験の実施等により、モノづくり産業で培われた世界屈指の未来技術を世界へ発信する必要があるのではないか。

(導入例)

- ☞ VR(仮想現実)などのアミューズメント利用のショーケース化
- ☞ サービスロボットの体験、自動走行などの未来技術の実証実験を実施



ロボットのイメージ
(リハビリ支援ロボット)



MICE開催の地を支える国際人材育成

- ・MICE誘致を促進する上で、施設整備だけではなく、MICEビジネスを支える人材の育成が必要ではないか。
- ・都市そのものの魅力を高める上で、世界の人々へおもてなしを提供する観光人材の育成が必要ではないか。

(導入例)

- ☞ 研修機関、専門学校、国際交流センター

4 導入すべき機能のイメージ④

地域の魅力発信と送客

- ・地域の魅力と認知度の向上を図るため、知多半島や愛知県はもとより、広域的に地域の伝統、歴史、文化、産業、グルメ、スポーツなどの魅力を発信する必要があるのではないか。
- ・中部国際空港エリアが国内外から訪れる人々の旅の拠点となり、日本各地への周遊観光を促進する必要があるのではないか。

(導入例)

- ☞ 伝統・文化行事等の展示・体験施設
- ☞ 多様なニーズにきめ細やかに対応できる旅行コンシェルジュ、バスや海上アクセス事業者との連携
- ☞ 周辺DMOと連携した旅行メニューの開発、中部圏域DMOと連携した昇龍道プラン

(観光資源例)



知多半島



亀崎潮干祭の山車行事



名古屋城



立山

ゲートウェイ機能の強化

- ・陸海空のアクセス充実による「ゲートウェイ機能」の強化が必要ではないか。

(導入例)

- ☞ 中部国際空港の機能強化(路線拡充、完全24時間化、2本目滑走路)
- ☞ 道路、鉄道、船による空港アクセスのさらなる充実



5 機能整備の手法の検討

国が目指す日本型IR

- ・会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設など観光振興に寄与する施設が一体となった施設で、民間事業者が設置・運営。

(特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律(IR推進法))

- ・日本型IRの目標は、民間事業者ならではの創意工夫を活かした、①世界で勝ち抜くMICEビジネスの確立、②滞在型観光モデルの確立、③世界に向けた日本の魅力発信である。

(特定複合観光施設区域推進会議(IR推進会議)とりまとめ)

本県が検討する機能整備の方向性

- ・MICEを核とした国際観光都市を目指し、国際競争力の強化を図っていく中で、MICEビジネスを呼び込む魅力的かつ一体的な施設の整備を検討。
- ・国際観光都市としての魅力を高め、世界中から人を呼び込む仕掛けとして、日本が誇る最先端技術の導入や周辺地域と連携した魅力発信や周遊観光の取組等を検討。
- ・国が目指す日本型IRを、本県が目指すMICEを核とした国際観光都市の機能整備の中で活用していくことを検討。